

1 題材名

『千葉の街（まち）が燃えた日』 <3年生 歴史分野 「戦時下の人々」>
～千葉空襲の現実に目を向け、平和を願う～

2 授業のねらい

- ①千葉市が空襲を受けて市街地の多くが焼失したこと、多数の死傷者が出たという事実を千葉市の子どもたちに伝えます。体験談や被災状況等の資料を多く使用したいと思います。
- ②軍都千葉と言われ、今も多くの軍施設跡が残っている千葉市の全体像を把握します。そしてそれらの施設が千葉市に集まることで空襲の標的となった、という図式を導きます。
- ③各種体験記や講話、ディスカッションを通して、戦争の惨禍を生徒が考える機会とします。当時の悲惨な状況を悲しむだけでなく、今後の平和に向け努力する心を育みたいと思います。

3 指導計画上の位置付け

◇1時間扱い

◇第6章：二度の世界大戦と日本 4節：第二次世界大戦と日本 終盤に扱える内容です。

4 予想される授業の流れと指導資料

- ①作文（体験談）、映像資料などで、市内の被災地域や程度を具体的に把握します。
- ②千葉市が空襲の標的となった理由を考えます。
 - * 多くの軍の施設、軍需産業の工場の存在
 - * ある程度の人口や都市機能、交通機関、港湾等があり効果的
 - * 他都市の空襲被害状況との比較（時間があれば）
広島・長崎、大都市、地方主要都市、空襲を受けなかった都市など
- ③千葉市に置かれた軍の施設とその現状を、新旧の地図から読み取ります。
 - * 鉄道連隊→千葉公園、 戦車学校→稲毛区役所、 気球連隊→倉庫（2020年に解体）、
陸軍病院→医療センター、 日立航空機工場→JFE など
- ④体験談や講話などで戦争の悲惨な状況と被害からの復興の努力を知り、平和への思いを強くするための活動を行います。
 - * 千葉市の復興計画、発展状況、軍都から生産都市へ
 - * 戦争を振り返り、平和への願いを表現する
平和都市宣言の朗読、私たちの平和都市宣言づくり など

<活用する主な資料>

- ◎千葉市内に残る戦跡地 ◎6・7月空襲の概要 ◎戦争体験記 ◎実体験講話
- ◎被災状況の映像等 ◎千葉市の平和都市宣言 ◎地図ソフト（今昔マップ）
- ◎『軍都千葉と千葉空襲』（本館特別展図録）

5 指導上の留意点、その他

- ◇学校によっては学区内に跡地や関連するもの（碑など）が残り、身近に触れているケースも考えられます。その場合は実際に訪れて、見て、学習の効果を高めてください。
- ◇本館特別展の図録『軍都千葉と千葉空襲』のお求め方法はホームページでご確認ください。